

あいあい通信



08 冬 (12月1日発行)
Vol.85

誰もが安心して楽しく幸せに暮らせる
まちの実現を目指して

発行：社会福祉法人
立川市社会福祉協議会

〒190-0013 立川市富士見町 2-36-47

電話：042-529-8300

FAX：042-529-8714

歳末たすけあい運動にご協力をお願いいたします

●12月1日より、 歳末たすけあい運動が始まります

歳末たすけあい運動は、共同募金運動の一環として、立川市社会福祉協議会(立川社協)が中心となり実施しています。

みなさまからお預かりした募金は、翌年度、地域福祉活動費としてボランティア活動、地域住民によるさまざまな地域福祉活動に使われています。



●歳末たすけあい募金からの配分金は、立川市社協が独自に行っている事業に使わせていただいています

【平成19年度実績】

- ・法律相談などの専門相談事業
- ・機関誌『あいあい通信』の発行
- ・市民活動情報誌『市民活動センターたちかわ通信』の発行など

●募金期間は

平成20年12月1日～12月31日です

※ただし、年末業務の都合により、お取扱いは12月27日までとさせていただきます

●問い合わせ先

立川市社会福祉協議会 総務係 電話042(529)8300

地域福祉市民フォーラム2008を開催します

「地域で支える認知症ケア」～老いても安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

日時：2008年12月13日(土曜日) 午後1時半～4時半(開場1時)

会場：立川市女性総合センター アイム1階ホール

内容：①地域包括支援センターの役割と認知症サポーターについて

野田美輝氏(立川市中部たかまつ地域包括支援センター・社会福祉士)

②基調講演：「地域で支える認知症ケア」

下垣光氏(日本社会事業大学社会福祉学部准教授)

②シンポジウム：「老いても安心して暮らせる支え合いのまちづくり」

③家族介護体験者

竹内英子氏

地域ボランティア

宮本直樹氏

認知症対応型デイサービス管理者

吉崎グレイス氏

社会福祉協議会地域福祉コーディネーター

早川郁子氏

コメンテーター

下垣光氏

参加費：無料

その他：参加ご希望の方は直接会場に開演前にご来場下さい。(入場定員196名)

※当フォーラムは認知症サポーター養成講座を兼ねている為、参加者には基本テキストと認知症サポーターの証であるオレンジリングが配布されます。

主催：立川市・立川市社会福祉協議会

立川市地域包括支援センター・福祉相談センター・立川市高齢者ケア研究会

問合せ：立川市南部西ふじみ地域包括支援センター(田辺・武内)

立川市富士見町2-36-47立川市社会福祉協議会内

電話042-540-0311 FAX042-548-1747



ホットほっと地域

ここでは社協の活動をより具体的にお伝えしていきます。よりHOTで、しかもほっとする、現在進行形の耳より情報をいち早くお届けします！

生活安定化総合対策事業の基本要件が緩和されました

立川市社会福祉協議会では、立川市からの委託を受け、生活安定や正規雇用に向けた支援事業を行っています。12月1日より対象者の要件が見直され、大幅に緩和されました。

以前、対象にならなかった方も、今回の見直しで対象になる場合がございます。お手数ですが今一度要件をご確認のうえ、社協までお問い合わせください。

●基本要件●

- ①世帯の生計中心者であること
(世帯主以外の方が生計中心者の場合は、最多収入者を生計中心者とする)
- ②課税所得が単身世帯は年額50万円以下、扶養者がある世帯は年額60万円以下であることもしくは、「収入要件基準表」に基づき、総収入が基準額以下であること

※課税証明書で「課税総所得金額」「給与収入金額」欄をご確認ください

収入要件基準表 (参考)

扶養人数	0人(単身)	1人	2人	3人
総収入	1,760,000円	2,600,000円	3,200,000円	3,800,000円

※賃貸物件に住んでいる方については、月額7万円(年額84万円)を限度に家賃支払額を総収入から減額することが可能

※現在において、失業等の理由により明らかに前年度よりも収入が激減している場合

⇒直近3ヶ月の収入状況から年収を推計し、判断

- ③土地・建物を所有していないこと
⇒山林、田畑、居住の用に供している住宅(住宅ローンがある場合のみ)については、「土地・建物」所有とみなさない
- ④預貯金等資産の保有額が600万円以下であること
- ⑤都内に引き続き1年以上在住していること
- ⑥生活保護を受けていないこと

※事業内容により、個別の要件があります

●事業内容●

☆就職チャレンジ支援事業

正社員への就職にチャレンジする意欲を持つ方のサポートをします。年間100コース以上の豊富な職業訓練を実施し、訓練受講中は受講奨励金(月額約15万円)が支給されます。

☆生活サポート特別貸付事業

訓練受講中の生活資金、就職等一時金を無利子で貸し付けます。

- ・就職チャレンジ支援事業での受講が決定した方は、奨励金が出るまでの間のみ上限15万円を貸し付け
- ・訓練(就職チャレンジ事業以外の職業訓練)受講中の生活資金として、上限60万円の貸し付け(1回のお申し込み限度額は30万円)
- ・訓練後就職が内定した場合、就職等一時金(上限50万円)の貸し付け

☆チャレンジ支援貸付事業

学習塾等の受講費用および大学受験等の受験料を無利子で貸し付けます。

- ・学習塾等受講料=中学3年生は15万円まで、高校3年生は20万円まで(家庭教師は除く)
 - ・大学等受験料=高校3年生、10万5千円(1校3万5千円×3校まで)
- ※学校に合格した場合は償還免除もあります。ただし、償還免除には資金交付後、領収書の提出が必要です

■問い合わせ先■ 総務係 電話 529-8300

地域福祉コーディネーターだより

～ 栄町・若葉町であった出来事 ～



地域福祉コーディネーターとは？

地域福祉コーディネーターは、地域の実情を把握し住民の相談に応じて必要なサービス、機関につなげるとともに、地域の様々な団体のネットワークを構築し、制度の狭間にある生活課題などの解決にあたります。また、地域に根ざした様々な活動を通して、住民同士のふれあいや支えあいによる地域づくりを進めます。

「防災！茶話会」が開かれました

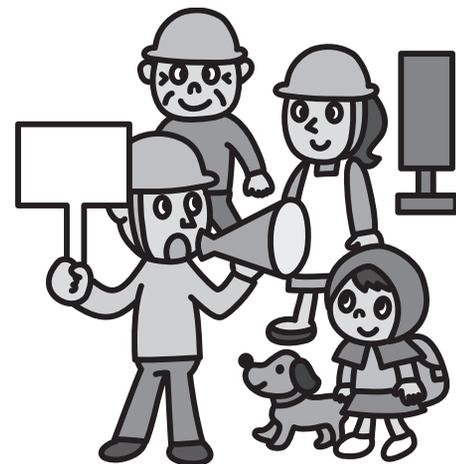
「本当に震災があった時に、誰が声をかけてくれるのか不安」これは車椅子を使って生活している方からの声でした。そんな声が複数聞かれたこともあり、過日、栄町の自治会で防災を切り口にした茶話会を開催しました。事前にチラシを各戸配布したところ、全世帯の4割弱にあたる15世帯、17名の住民の方がお集まり下さいました。

栄町は今年度防災モデル地区になっており、ワークショップが連続開催されています。障害のある方もご参加されていますが、具体的に考えて、もし介助者がいない時間帯に震災などが発生したらどうなるのだろう、という不安を持たれたとのこと。これはご高齢者やご病気の方でも同様だと思います。はじめの数時間は近隣の助け合いによる救出活動を行わなければなりません、近所にどんな人が住んでいるかすら分からないという地域も多く聞かれます。

今回茶話会を開催した自治会さんは、比較のお互いの顔は分かる、会釈もするという雰囲気がまだ残っているように見受けました。そのため一歩すすめて、障害のある方や高齢者ご自身から「どんな時間帯にどんな不安があるのか」などをお話してもらい、お近づきになって頂こうと思いました。また、介助者を派遣している事業所の方、地域包括支援センターからもご参加があり、住民のみなさんとお顔つなぎができました。

ほんの1時間半ほどのお茶会でしたが、「もっと若い人にこそ、こういう場に参加してほしい」「防災訓練は足が悪いから遠くて参加できない。自治会の集会室なら来られる」「皆さんと話ができて良かった」などのご意見が聞けました。1回では目的は果たせませんので2回目も行います。防災課の職員さんをお招きして、この自治会で準備することは何か、すぐに取り組めることは何か、などについて学習会を開くことになりました。

少しでも具体的に防災体制が整い、人間関係もさらに豊かな地域になることを願って準備を進めていきます。



栄町・若葉町を拠点に日々、地域福祉コーディネーターが活動しています！地域で何かございましたら気軽にお声かけください！

電話 537-7147 早川

地域包括支援センター通信



今回は南部東はごろも地域包括支援センターのご紹介をします

はごろも地域包括支援センター（以下、はごろも包括）はちょっと奥まった静かな住宅街の一角にあります。入口を入ると囲んでできるロビーが広がり、ワンフロアにデイサービスやお風呂があります。室内は全体的に木目調、ロビーの窓はガラス張りになっていて暖かい雰囲気。ガラス越しに木々も見えます。

はごろも包括は3人体制で、主任ケアマネジャー、看護師、社会福祉士の専門職員の方々が携わっています。地域は羽衣町と錦町を担当しています。

はごろも包括が実施していることのひとつに、健康体操があります。月2回（第2、第4土曜日）の10時～12時、健康体操の先生の指導のもと、開催されています。参加費は無料で、体を動かしたい方などなたでも参加可能です。高齢の方も無理なくできるようにハードな体操ではなく、バスタオルやマット



立川市南部東はごろも地域包括支援センターの様子

を引いて床に寝ころんでの運動を主にしているので、ご自分のペースでできます。特に男性の方は参加者が少ないので、ぜひ男性のみなさん体を動かしてみませんか。体操の前に食育指導として、先生による食の話もあります。

はごろも包括ができて約2年。毎月、民生・児童委員協議会に出させてもらい、民生委員の方々と顔見知りになりました。気になる人がいると声をかけてくれたりと、地域の中にもだんだん根付いてきました。その利用者の訪問のときには、民生委員さんが訪問に同行してくれることもあります。

錦町・羽衣町は、特徴として団地など地域に長年住んでいる方が多いということがあります。包括がチャリ配布などの依頼をすると、老人会や自治会の方々が引き受けてくれ、協力してくれるそうです。ヘルパーなどを利用している高齢者もいますが、周りの住民が見守りをしてくれることもあります。隣近所同士の付き合いも残っていて、インフォーマルな地域のネットワークが形成されている地域です。

これから力を入れていきたいことに、出前講座があります。今まではあまりセンターの方から地域に出かけていくことができなかったため、これからは積極的に地域に出向いていき、住民と触れ合うことを考えています。

地域包括支援センターは介護や福祉について分からないことはもちろんのこと、様々な相談にのってくれます。ひとりで悩んでいないで、身近な相談先にまずは一度、お気軽に電話してみてください。（竹内英子）



（左から、村木さん、中山さん、木田さん）
私たちがお待ちしております

○連絡先

立川市南部東はごろも地域包括支援センター
羽衣町1-12-18 羽衣地域福祉サービスセンター内
電話 532-5612 FAX 523-5613

今回は中部たかまつ地域包括支援センターです！

★あんたちにゅうす★

「地域あんしんセンターたちかわ」では、判断能力に不安のあるまたは低下した市民が、適切な福祉サービス等を利用しながら今後も安心して生活できるよう、福祉サービスの利用にかかる総合相談や地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）、成年後見制度の利用支援や普及・推進、法人後見人の受任、苦情相談の受付などを行っています。また、立川市における成年後見制度の推進機関も兼ねた市民参画による運営委員会を設置し、事業を運営しています。

今回は権利擁護に関する相談支援の事業として地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）を紹介します。

地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

認知症高齢者や知的障害、精神障害などで判断能力が十分でない方を対象に、利用者との契約に基づいて福祉サービスの利用に関する相談に応じ、その選択や契約を支援します。それに伴うサービス利用料の支払いをはじめ、日常的な金銭管理や通帳・証書等重要な書類の預かり等の支援を行い、利用者が安心して自立した生活がおくれることを目指しています。

●対象者

市内で生活されている認知症（物忘れのある）高齢者、知的障害、精神障害のある方などで自己選択や自己決定に課題のある方。

●サービス内容

- ①福祉サービスの利用援助：福祉サービス利用の情報提供や助言、利用の手続きや利用料の支払い等、や苦情解決制度を利用する手続き等の支援を行います。
- ②日常的金銭管理サービス：年金や手当等の受領、また公共料金や家賃等の支払い手続き、日常生活に必要な預貯金の払戻し、預入れ、解約の手続き等の支援を行います。
- ③書類等の預かりサービス：年金証書、通帳、権利証、実印などの重要な書類等を金融機関の貸金庫で保管します。

●利用料

- ・サービス利用支援計画を作成し、それに基づく福祉サービス利用援助や日常的金銭管理サービス支援については、1時間1,000円～です。（減額制度があります。）
- ・書類等の預かりサービスは1か月1,000円です。

●支援の流れ

- ①訪問：サービス説明や意思確認、情報収集、他機関との調整
- ②契約：東京都社会福祉協議会の判定を経て本人と契約します。

③支援について

利用者がこれからも安心して生活が続けられるよう、以下のサービスを実施します。

- 1) 生活支援員が支援計画に基づいて訪問し支援を行います。
- 2) 専門員は初回訪問から契約に至るまでの調整や定期訪問を行います。
- 3) 親族や関係機関との連絡調整、ケアカンファレンスの開催、参加をします。
- 4) 専門員と生活支援員は連絡調整を行い、定期的に支援計画の見直しを行います。

*該当しなかった場合は、地域あんしんセンター運営委員会で処遇について検討し、成年後見制度利用支援など課題解決への相談支援を行います。

《相談例》

主に地域の住民、親族、民生委員、病院、行政、地域包括支援センター及びケアマネジャーやヘルパー等関係機関等からご相談があります。

- ☆一人暮らしの方で、通帳や印鑑などどこに置いたか分からなくなる。
- ☆お金など盗られたと、よく訴えてくる。
- ☆家がすごく荒れている、書類の整理（管理）や金銭管理が不安。
- ☆年金をもらっているはずだが、お金がないと、訴えが多い。
- ☆生活費がなく、食べるものにも困っている（親族や友人に搾取?）。
- ☆家の中に督促状などが沢山あるが、本人は覚えていない。
- ☆訪問販売や新聞契約などの被害にあっている。
- ☆長期入院していた人が、退院。その後の生活が不安。
- ☆世帯全体をまとめて支援する必要がある。 など

○問合せ先

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 地域あんしんセンターたちかわ
立川市富士見町2-36-47 総合福祉センター2階
TEL 042-529-8319 FAX 042-529-8714

生活福祉資金

学費をはじめ、各種貸付を行っています

社会福祉協議会では、他の金融機関からの借入れが困難な所得の少ない世帯や障害者世帯・要介護高齢者の属する世帯の方々に、低利（無利子または3%）で資金を貸付けることにより、世帯の自立更生・社会参加を応援しています。目的に応じて各種資金がございますので、お気軽にご相談ください。

■問い合わせ先 総務係 電話529-8300



“多摩ら・び”を愛する たましんのマスコットガール



利根川美海さん●富士見町



元 気 人



イラスト・浅見照美

「“多摩ら・び”をやりたいって、ずっと言い続けていたんですよ(笑)」とにこやかにお話をしていたのは、多摩らいふ倶楽部事務局企画担当の利根川美海さん。

今年6月発行の“多摩ら・び”50号は立川特集で、その市民レポーターに加わった私が、初めて利根川さんと話し込んだ日に聞いた言葉であった。

市民、行政、けやき出版、そして『たましん』の皆が一同に揃い、編集会議をはじめ。その中心で、それぞれの意見を拾い、認め、反映し、まとめあげているのが、この利根川美海さんであった。

若い人とも馬が合い、年配の方々にもかわいがられるこの笑顔は、本当に好きなことをやっているという表れの表情である。



地域情報がギッシリ!

●地域を歩く

「大学を卒業して『たましん』に入社しましたが、面接の時は、“多摩ら・び”をやりたい!なんて一言も言いませんでした。本業ではない部署を希望していたら、不採用ですよ(笑)。入社して3年は、年金担当で、地域を自転車ですまわりましたが、これはこれで昼間

のまちをまわるのは楽しかったです。」

信金……という、窓口業務しか想像できないが、年金の話に行くとなると、その人の経歴を聞くことになる。要はその人の今までの人生を振り返ってみるようなもの。ただ地域を知るのではなく切実な思いで地域を知ることにもなる。そんな毎日は、利根川さんの真髓にある「人と触れ合うのが好き」という気持ちを浮き上がらせてくれ、今の原動力になったものだと思われた。

●いろいろな市で、いろいろな市民に出会ってきて

そんな毎日を過ごしながら3年が過ぎたころ、利根川さんは念願の“多摩ら・び”に関われることになる。この時期から、けやき出版さんが取材していた部分を、市民編集委員制度を設けての紙面作りが始まった。

「現在、町づくりのプロである商店街の会長さんや、自治会、市役所の人が、ここには何も無いよという場所があったとして、その道にあるこだわりのおいしいコロッケを売る肉屋さんが目にとまるのは、町おこしを考えている人ではなく、そこに住んでいる市民だったりします。これはすごく新鮮な目です。市民レポーターを加えることで、プロの目と素人の目が入り、これが町づくりにつながっていると思っています。だから、思っていた以上に断然楽しいんですよ!!」

『たましん』という看板は、プロには信用を、素人には安心を与えている。だからこそ、いろいろな立場の人が一緒に作り上げられるのかもしれない。

●感謝の毎日

最後に利根川さんに、目指すところを聞いてみました。

「町にはどこにいても、活発な方がいます。そういう意味でも違う市の人同士つなげていけたらいいあと考えています。もうひとつは、“多摩ら・び”としてではなく、自分自身のこととして地域を考え、きちんと地域を勉強していきたいと思えます。」

そういえば、“多摩ら・び”50号立川特集の完成パーティーがあったのだが、そこには『たましん』の理事長さんもいらしていた。どんなに小さな会場でも足を運んで、完成を祝ってくれるらしい。

「トップはじめみんなが地域を大事にしているそんな会社にも、“多摩ら・び”をやらせてくれる上司にも、成長させてくれる地域にも、……そしてもちろん旦那さんにも、感謝している毎日です!」という利根川さんの顔には何の迷いも見られない、言葉ひとつひとつには、感謝の気持ちが溢れ出ている。これからも地域を歩く中で、いろいろな感謝の姿が見えてきそうだ。

(山本晶子)

多摩らいふ倶楽部とは

多摩信用金庫が企画する地域に貢献した会員制の倶楽部であり、その活動の一環で“多摩ら・び”が発行されています。“多摩ら・び”は、多摩らいふ倶楽部がベースに、けやき出版と市民レポーターが、地域情報を市ごとにまとめ、書店販売している書籍(隔月発行)。

プレゼント

立川の特集が掲載されている多摩ら・び(No.50号)と御岳美術館招待券をセットにして5名の方にプレゼントいたします!応募方法は、ハガキかメールに住所・氏名・年齢・電話番号をご記入の上、立川社協事務局『多摩ら・びプレゼント』係までご応募ください。応募者多数の場合は抽選とさせていただきます(発表は商品の発送をもってかえさせていただきます)。締め切りは12月15日(当日消印有効)

●応募先

立川市富士見町2-36-47

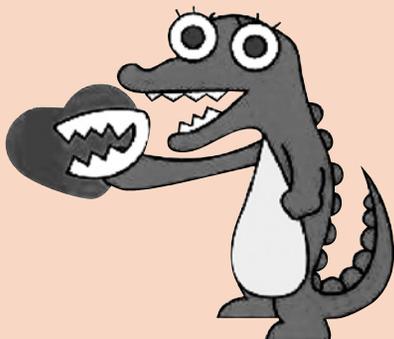
立川市社会福祉協議会 あて

●メール

aiacs@whi.m-net.ne.jp

入れ歯リサイクルにご協力を

立川社協では、総合福祉センター2階カウンターに「入れ歯リサイクル回収ボックス」を設置しました。これは入れ歯のバネや、歯と歯をつなぐブリッジに使用されている貴重な金属をリサイクルして換金し、本会やユニセフに寄付するNPO法人「日本入れ歯リサイクル協会」に協力するものです。不要になった入れ歯や処分に困っている入れ歯がありましたら、是非ご協力ください。なお金属が使われていない入れ歯はリサイクルできませんのでご注意ください。



日本入れ歯リサイクル協会ホームページ⇒<http://ireba-recycle.com/>

●問い合わせ●

総務係 電話 529-8300

自治会(町会)にご加入を!

自治会は、地域の全世帯を対象とする団体で、お互いの理解と信頼の上になった連帯と協力によって住民自らの手で身近な生活環境を良くし、日常生活の共通する課題について、みんなで協力して解決しています。主な活動はあいあいパトロール隊による防犯活動や防災訓練、健康フェアや各種講演会の実施など。

あなたも地域の一員として自治会に加入しませんか?立川社協は自治会活動を応援しています!



●問い合わせ先●

立川市自治会連合会・立川市文化振興課内

電話 042-523-2111 内線 408・481

言葉にかえて（寄付者名簿）

平成20年8月1日～10月31日 総額745,575円（敬称略）

Table with 4 columns: 日付, 氏名・名称, 住所, 金額. Contains three columns of donation data from various organizations and individuals.

平成20年度 立川市社会福祉協議会団体会員一覧

（平成20年9月11日～11月14日現在）

ご加入いただき、ありがとうございます。

Table with 2 columns: 団体・企業名, 立川市福祉作業所. Lists member organizations like シバサキ保険事務所 and 国際ソロプチミスト立川.

平成20年度 赤い羽根共同募金 自治会別集計一覧

（平成20年11月12日現在）

ご協力いただき、ありがとうございます。

Main table with 4 columns: 地区, 自治会名, 募金額. Lists donation amounts by neighborhood (e.g., 富士見, 高松, 柴崎) and sub-neighborhoods.

総合計 地区募金4,146,615円 + 一般募金112,473円 = 4,259,088円

平成20年度 立川市社会福祉協議会会員・会費 自治会別一覧（追加分）

（平成20年11月12日現在）

ご協力いただき、ありがとうございます。

Table with 2 columns: 自治会名, 会費額. Lists additional membership fees by neighborhood like けやき台団地自治会 and レガリア会.

合計内訳：準会員59名 正会員391名 賛助会員24名 特別会員0名 団体会員0団体 合計金額：241,700円

情報コーナー



このコーナーは、市民活動やボランティア活動に関するイベント等の情報を掲載しています。掲載されている情報に関しては直接団体へお問合せください。また、このコーナーへ掲載する情報も随時募集しています。掲載ご希望の方は市民活動センターたちかわまでご連絡ください。



市民活動センターたちかわからのお知らせ

ふれあいミュージックフェスティバル 2008 開催のお知らせ

ふれあいミュージックフェスティバルは、障害のある方や小さなお子さん連れの方でも、誰もが一緒に楽しむことのできるコンサートです。

東京ガス(株)多摩支店や国立音楽大学の協力のもと、今回で16回目を迎え、毎年1,000名以上の多くの来場者から好評をいただいています。

今年度は、『プラス・プラス・プラス』というサブタイトルの通り、40名以上の規模で構成される、国立音楽大学ウインド・アンサンブルのみなさんによるプラスサウンドやオカリナの独奏などをお届けします。

また、休憩時にお楽しみ抽選会も行ないます。一足早いクリスマス気分を味わいに、ぜひお越しください。

日時：12月14日(日) 14:00～16:00

場所：国立音楽大学講堂大ホール(立川市柏町5-5-1)

参加費：無料(要整理券)

申込み：電話・Fax・E-mailのいずれかでお名前・ご住所・電話番号・整理券の希望枚数を下記申込み先へお知らせください。折り返し入場整理券を郵送にてお送りいたします。

☎042-529-8323/Fax:042-529-8714

E-mail: aiaivc@whi.m-net.ne.jp

高齢者関係、障害者関係、児童関係、市民活動団体など分野別に紹介しています。この冊子は、市内各学習館や図書館など公共施設で閲覧もできます。また、市民活動センターで、1冊300円で販売しておりますのでお問合せ下さい。

使用済み切手や使用済みカードを集めています

立川市社会福祉協議会では、ご自宅に届いた手紙についている使用済みの切手やテレホンカード、バスカード、パスネットなど使用済みカードを集めています。

集められた使用済み切手やカードは、市内にあるボランティアグループや市民活動団体、福祉施設で整理していただき立川市社会福祉協議会で換金をします。

この換金されたお金は、市民活動の支援や地域懇談会の開催、夏体験ボランティア、市民活動センターたちかわ助成事業などに活用させていただきます。

少量でも構いませんので、ぜひ立川市社会福祉協議会へお持ちいただくかお送りください。また、市内にある学習館にも回収BOXを設けておりますのでご活用ください。

※平成19年7月～20年11月に集められた使用済み切手、カードを換金したところ、33,800円になりました。ご協力ありがとうございました。

掲載記事に関するお問合せは・・・

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会 市民活動センターたちかわ

連絡先：☎042-529-8323 / Fax:042-529-8714

E-mail: aiaivc@whi.m-net.ne.jp

URL: http://act.annex-tachikawa.com/

開所日・時間：(月)～(金) 8:30～19:00

(土) 8:30～17:15 ※日・祝祭日はお休みです

福祉施設・団体紹介冊子「ボラえもん」発行しました

「立川市内にある福祉施設、団体を紹介する「ボラえもん」の最新版(10月現在)を発行しました。

ボランティア活動してみたい方や福祉施設ではどんな活動ができるのか知りたい方、また、施設、団体を調べたい方などの情報源として活用して頂きたいと思っております。

イベント・講習・講座

■立川トーストマスターズクラブ講座

～あがり症克服!話し方、会話力を見つける～

「人と話すのが苦手だ」「思ったことが上手く伝わらない」普段の生活でこんな経験はありませんか?立川トーストマスターズクラブは話し方やコミュニケーション能力を楽しみながら向上させる非営利教育団体です。人前で話す訓練を通じて、家族との会話や毎日の生活で欠かせない話し方、聴き方、会話力などを上達することができます。

18歳以上の方ならどなたでも参加できます。また、見学無料ですので、お気軽にご参加下さい。

日時：①12月7日(日)/②12月21日(日) 13:30～15:30

※原則毎月第2第4日曜日

会場：①柴崎学習館(立川市柴崎町1-1-43)

②女性総合センター・アイム(立川市曙町2-36-2)

参加費：見学無料 入会金：3,000円 会費：1,000円/1ヶ月

受付：随時

申込み・問合せ：E-mail: tachikawa.speech@gmail.com(田戸岡さん)

URL: http://tachikawa-speech.org/

■至誠キートスホーム 講座とフォーラムのお知らせ

講座(1)「認知症支援ボランティア講座」

地域に住む認知症の人を支援するために開催する講座です。認知症についての講座や介護体験者のお話を聞いたり、実際に、介護体験してもらいます。

日時：①1月16日(金)/②1月21日(水)

③1月26日(月)～1月30日(金)/④2月4日(水)

※13:30～15:30(各回共通)

内容：①講義「認知症について」

講師 向山晴子さん(東京都多摩総合精神保健センター広報課長)

②報告「認知症介護体験」

③現場実習「至誠キートスホームデイサービスにて」

④活動報告「地域や施設でボランティアを展開する」

定員：20名(地域住民の方を対象にしています)

講座(2)「高齢者サロン活動入門講座並びに情報交換会」

高齢者サロン活動に関心のある市民を対象に、サロン活動を展開している方との情報交換会を行います。

日時：1月17日(土) 14:00～16:00

内容：実践報告と意見交換

定員：20名

(高齢者サロン活動実践者、活動に関心のある方を対象にしています)

講座(3)フォーラム「認知症の人を地域で支える」

認知症になっても、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるためには、在宅サービスだけではなく地域住民の支え合いが必要不可欠ではないでしょうか。

参加者の皆さんとともに考えていきます。

日時：1月24日(土) 13:40～16:15

内容：1部 基調講演「認知症の人を地域で支える」

講師：柴田範子さん(NPO法人 楽理事長)

2部 グループ討議

会場：講座(1)・(2) 至誠キートスホーム会議室

(※現場実習は、デイホーム)

講座(3) 至誠キートスホーム青空広場

申込み・問合せ：至誠キートスホーム(立川市幸町4-14-1)

☎042-538-2323/Fax:042-538-2324(栗原さん)



■点字入門講座～「6つの点で表す世界」～

点字に興味のある方からボランティアを志す方まで、初めての方を対象に点字の基礎を学びます。

日時：①1月29日(木)/②2月5日(木)/③2月12日(木)/④2月26日(木)

⑤3月5日(木)/⑥3月12日(木) 14:00～16:00(各回共通)

※全6回講座

会場：中央図書館会議室(立川市曙町2-36-2)
講師：廣渡俊明さん(東京都立八王子盲学校教諭)
参加費：500円(テキスト代)
定員：30名
申込み・問合せ：立川市生涯学習推進センター(12月10日(水)より受付開始)
☎042-527-5757(中村さん)

■PC達人への近道?!

『3時間で覚えるファイルとフォルダ操作』

「このファイルをUSBメモリに新しいフォルダを作って保存してください」とか「先日作った

企画書ファイルの名前を変えて、〇〇フォルダに移してください」と言われて、困った人はいませんか?

本講座は、そんな人向けにPC操作で最も大切なファイルとフォルダの操作方法について、3時間かけて解説&実習をします。ファイルとフォルダ操作ができればPC達人です。

日時：1月31日(土) 13:00~16:00
会場：立川市総合福祉センター2F視聴覚室(立川市富士見町2-36-47)
参加費：無料
定員：20名
申込み・問合せ：たちかわパソコン倶楽部
E-mail: iwama@mbj.nifty.com(岩間さん)



ひと・モノ・募集

■初詣の外出ボランティア募集

「もういくつ寝るとお正月〜♪」ですが、一年の無病息災を願って特別養護老人ホーム・フェローホームズと羽衣地域福祉サービスセンターでは、毎年利用者さんと一緒に、諏訪神社にお参りに行きます。

お天気や体調を見ながらの行事ですが、同行していただけるボランティアさんを募集しています。日程や時間に幅がありますので都合がつかたは、是非ご参加下さい。



〈特別養護老人ホームフェローホームズ〉

日時：1月7日(水)/1月10日(土)/1月14日(水)
午前の部 10:30~11:30 午後の部 14:30~15:30
※10分前に集合
問合せ：社会福祉法人恵比寿会特別養護老人ホーム
フェローホームズ/フェローデイサービス(立川市富士見町2-36-43)
☎042-523-7601/Fax: 042-523-7605(藤谷さん)
E-mail: fujitani@fellow-homes.or.jp
URL: http://www.fellow-homes.or.jp

〈羽衣地域福祉サービスセンターデイサービス〉

日時：1月5日(月)~9日(金) 13:00~15:30
利用者さんを2グループに分けて、2往復いたします。
※10分前に集合
問合せ：羽衣地域福祉サービスセンター(立川市羽衣町1-12-18)
☎042-523-5612/Fax: 042-523-5613(新妻さん)
E-mail: hagogromo@fellow-homes.or.jp

■西砂小「放課後子ども教室」ボランティア大募集!

西砂小「放課後子ども教室」運営準備委員会では、平成21年1月を目標に「放課後子ども教室」の開設に向け、準備を進めています。この事業は、地域の方々の協力を得て、子どもたちの放課後に安全安心な居場所をつくるものです。

当面は、毎週1回、水曜日の放課後に子どもたちの見守り活動を行います。

この事業にご協力いただける方を募集しています

〈募集内容〉

①安全管理員

対象者：市内在住・在勤・在学している、子どもの健全育成に情熱を持つ20歳以上の方。年齢上限はありません。
毎週水曜日の放課後かチャイムが鳴るまで参加できる方。
(夏休みなど長期休業期間は除きます)
※毎週の参加が無理な場合は応相談

業務：施設の安全巡回、子どもたちの見守り、入退室のチェック

②コーディネーター

対象者：市内在住・在勤・在学している、子どもの健全育成に情熱を持つ20歳以上の方。年齢上限はありません。
コーディネーター業務が可能の方。

業務：ボランティアの確保、登録、配置、活動プログラムの企画、広報
学童保育との連携調整、関係者の連絡調整等

その他：若干ですが、謝礼があります。後日、応募者の方には、説明会を開催します。また、応募多数の場合は、運営委員会で選考いたします。

申込み方法：申込書に必要事項を記入し、提出して下さい。(郵送でも可)

申込み・問合せ：宮崎栄喜さん(立川市西砂町6-23-2) ☎042-531-2554
村山 勝さん(立川市西砂町5-9-60) ☎042-531-7022
西砂小学校(立川市西砂町6-34-2) ☎042-531-2082



■やわらぎホーム西立川お茶会のボランティア募集

やわらぎホーム西立川は、利用者さんの趣味活動のとして、現在、月1回お茶会を開催しています。利用者さんから好評の活動で、今後は月3回に活動を増やしたいと思っています。そこで、お茶道具(茶釜1点でも歓迎です)を譲って頂ける方、簡単な指導をして下さるボランティアを募集しています。

募集：①お茶道具

②指導してくれるボランティア

場所：やわらぎホーム西立川(立川市富士見町2-31-23)
問合せ：☎042-526-2207/Fax: 042-526-2208(美添さん)

■自立生活体操クラブ会員募集

いくつになっても自立して生活が続けられように、一人ひとりの自立度に合わせた体操(ストレッチ・筋力維持・有酸素運動・日常生活訓練)を音楽にのって、椅子やボールを使って行います。開催日時、場所など詳細はお問合せください。

日時：月・水・金 10:00~11:30
13:30~15:00
場所：こんぴら橋会館(立川市砂川町3-26-1)
西砂会館(立川市西砂町5-11-13)
西砂学習館(立川市西砂町6-12-10)
参加費：入会金500円/月会費1,500円(月4回)
指導：NPO法人 健康体操指導ワーカーズ
問合せ：自立生活体操をひろめる会
申込み：☎042-519-3273(竹原さん)



■キューティーコア会員募集

ストレッチ、有酸素運動、筋トレを中心にコアを鍛えていきます。メタボが気になる方や、痩せたいけれど一人では続かないというあなた、皆と一緒に体を引き締め、しなやかなボディを目指して頑張りませんか。

日時：毎週金曜日 10:00~11:30
場所：砂川学習館(立川市砂川町1-52-7)
参加費：入会金500円/月会費2,000円
持ち物：動きやすい服装・運動靴・飲料水
問合せ：☎042-519-3273(竹原さん)

■2級ヘルパー養成講座受講生募集中!

ホームヘルパー(訪問介護員)養成研修2級課程とは、在宅で日常生活の援助を必要とされる方にサービスを提供するための研修です。

座学が18日、実習が6日間の計24日間で終了できます。どなたでも受講可能です。

日時：①平成21年1月13日(火)開講~4月2日(木)終了式
(火・木・土コース)
②平成21年3月9日(月)開講~5月8日(金)終了式
(月火水木金コース)

講義・演習：やわらぎ・にんじん協議会研修センター(下記住所参照)

実習：立川市・日野市・国分寺市等

参加費：56,800円(受講料50,000円/テキスト代6,800円)

締切日：①平成21年1月6日(火) 17:00まで

②平成21年3月2日(月) 17:00まで

申込み：最寄の事業所まで「講習案内」を受け取りにお越しいただき申込用紙に必要事項をご記入の上ご提出ください。申込多数の場合は、抽選となります。

問合せ：NPO法人 ケア・センターやわらぎ本部
(立川市錦町2-3-5橋詰ビル1F)
☎042-523-3552/Fax: 042-523-7077(小松さん・桶口さん)

■パソコンボランティア募集

中途視覚障害者の方が、文書をパソコンに打ち込んでくれるボランティアを必要としています。パソコンのソフトで音声に変換することによって、内容を知ることができます。打ち込みをしていただいた主な文書は、講演や勉強会で配られた資料になります。

内容：パソコンのデータ打ち込み。
音声変換を必要とする文書で、知人に頼むことが難しい場合をお願いするという形になります。

その他：パソコンの打ち込みができる方。
音声ソフトの関係でパワーポイントやワードで作られた文書を「メモ帳」に打ち込んでいただきますので、「メモ帳」が使用可能な方。

問合せ：市民活動センターたちかわ
☎042-529-8323/Fax: 042-529-8714(田中)
E-mail: aiaivc@whi-m-net.ne.jp



■立川市社会福祉協議会専門相談(無料)

※本会専門相談では守秘義務を徹底しています。安心してご相談ください。

相談の種類	実施日	実施時間	相談員	概要
法律全般	毎月 第1・3・4・5土曜日	13:00~16:00	司法書士	完全予約制1人45分
法律全般	毎月 第3火曜日		弁護士	完全予約制1人45分
相続	毎月 第2・4火曜日		相続アドバイザー協議会	完全予約制1人50分
税金	偶数月 第2日曜日		税理士	完全予約制1人45分
年金	偶数月 第4日曜日		社会保険労務士	完全予約制1人45分
高齢者在宅介護相談	偶数月 第1水曜日		介護支援専門員	完全予約制1人60分
外国人相談	毎月 第3金曜日		行政書士	完全予約制1人60分
心のふれあい相談	毎週 木曜日		民生委員	予約不要

上記専門相談のお問い合わせ・ご予約は

相談場所/社協あいあいステーション(伊勢丹立川店6階ハートフルステーション内)

予約先/立川市社会福祉協議会 あいあいステーション ☎042-540-7484(10:00~18:00)

相談の種類	実施日	実施時間	相談員	概要
成年後見相談	毎月 第2土曜日	13:00~16:00	司法書士 社会福祉士	完全予約制 1人60分

成年後見に関するお問い合わせ・ご予約は

相談場所/社協あいあいステーション

(伊勢丹立川店6階ハートフルステーション内)

予約先/立川市社会福祉協議会 地域あんしんセンターたちかわ
☎042-529-8319(8:30~19:00)

相談の種類	実施日	実施時間	相談員	概要
アルコール相談	毎月 第2・4水曜日	13:00~16:00	東京立川 断酒新生活会	予約不要 電話も可

相談時間内のみ電話受付も行っています。相談専用 電話042-529-8426
相談場所/立川市総合福祉センター2階 相談室

アルコール相談に関するお問い合わせは

☎042-529-8300(8:30~19:00)

しゃきよう箱

ホームヘルパー募集

- 応募資格 以下の要件を満たしている方
介護福祉士またはホームヘルパー2級以上を取得している方(自転車に乗れる方)
- 採用予定日 随時
- 採用人員 5名
- 応募・選考方法 下記にご連絡ください。随時、面接を行います。
- 勤務地 立川市内全域
- 雇用形態 短期雇用職員
- 勤務日時 ◎週2日~週5日
※曜日等は応相談(日曜は休日)
◎8:00~18:00の8時間以内(応相談)
- 給与時給 1,180円~1,580円
介護福祉士は時給に20円加算。他に精動手当を支給。
- 雇用期間 平成21年3月31日まで
※勤務成績により継続あり
- 問い合わせ 在宅サービス係(担当/丸山)
tel.042-540-0821 fax.042-548-1724
E-mail: aiaihh@whi.m-net.ne.jp

年末年始の 立川市社会福祉協議会の 開所日程について

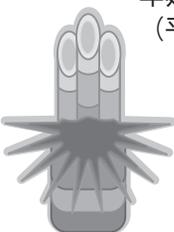
年末年始の社会福祉協議会の開所日をお知らせします。

■社会福祉協議会(総合福祉センター内)

開所日:年内 平成20年12月27日まで
年始 平成21年1月5日から
(平成20年12月28日から平成21年1月4日までは休みに なります)

■社協あいあいステーション(伊勢丹立川店6階)

開所日:年内 平成20年12月31日まで
年始 平成21年1月2日から
(平成21年1月1日は休みに なります)



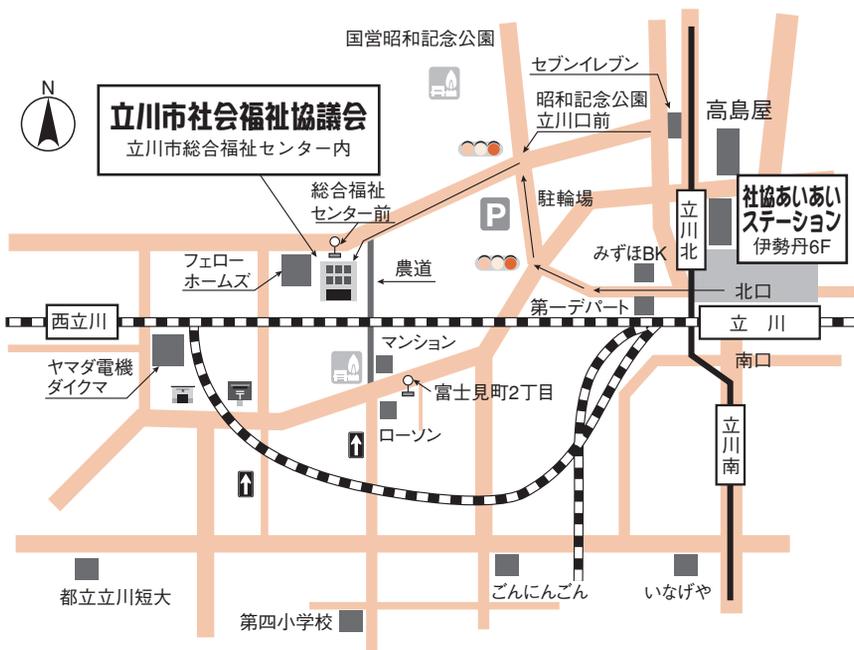
募金箱設置のご協力

立川社協では、募金箱をお店や会社などに常時設置していただけたところを募集しています。またチャリティーイベント等での募金箱の貸出しもいたします。募金いただきました寄付金につきましては、地域福祉に関わる事業として活用させていただきます。身近にできる地域福祉のサポーターになりませんか?下記までお問合せください。

募金箱

◆問合せ 総務係 ☎042-529-8300

社協案内図



《所在地》 社会福祉法人 立川市社会福祉協議会

〒190-0013 立川市富士見町2-36-47

立川市総合福祉センター内

☎042-529-8300(代表) Fax:042-529-8714

営業時間/月~金 8:30~19:00 土 8:30~17:00

URL: http://www.whi.m-net.ne.jp/~aiaics/ E-mail: aiaics@whi.m-net.ne.jp

■編集後記

- ◆包括支援センター訪問の帰りぎわに「バスの待合室 出発時刻16:00」が目にとまった。職員の方々のやさしさを感じました。(英)
- ◆銀杏の実を40個ばかり拾った。オレンジの皮を取り、殻を割って米と一緒に炊いた。その様子を家猫が恨めしそうに眺めていた。(須)
- ◆11月。いよいよ花の(?)40代に!三男の出産から始まった激動の30代。家族も含め、支えてくださった皆様に感謝です。40代は、もう少し人の役に立てるようになりたいな。(ま)
- ◆今、自分が取り組んでいるものを、何年経ってもやっていたいと思えるものと出会えていることはとても幸せなこと。そういう方は本当にいい表情をしています。(晶)